

# 全国民間保育園経営研究懇話会

経営懇ニュース 12月号 (No.240)

2023年12月8日

162-0837 東京都新宿区納戸町 26-3 保育プラザ 3F Tel03-6265-3174 Fax03-6265-3184 [gsp10404@nifty.com](mailto:gsp10404@nifty.com)

経営懇役員リレーエッセイ

## ゲンゴロウと三男坊

のどかな田園がひろがり、ゆったりと時間が流れる里山は、日本人の心の故郷ではないでしょうか。田畑や森林に囲まれた土地で大きく深呼吸し、土と緑の香りに心から癒され生きる勇気が湧いてきます。

そんな里山も高齢化・人口減少などにより荒廃が進んでいます。クマなどによる人的被害が拡大しているのも里山の荒廃が要因の一つだとも言われています。里山の歴史的変遷の一つに、戦後の食糧不足改善のために化学肥料を普及させたことや水田や畑の「ほ場整備」が挙げられます。こうした開発で戦後の食糧難の状態からの改善は目を見張るものがありました。しかしその影で、里山の減少と共に日本固有の水生昆虫も年々数を減らし、絶滅危惧種になっているものが多いことを私が知ったのは中高生になってからです。

さて、先日、山の麓にある親せき宅で夕方からバーベキューをした帰り際、外灯の下にしゃがみこんでいた我が家の三男坊（現在小学校3年生）が「捕まえた！」と叫び声をあげました。優しく包み込んだ両手の中を覗き込むと、な！な！なんと立派なゲンゴロウがモソモソ動いているではないですか。三男坊は「ゲンゴロウはみたことないから珍しい」と既に飼育することを決めていました。確かに私もあまり見たことがないなと思い調べてみると、タガメなどと同様に絶滅危惧種※1になっている貴重な生き物でした。三男坊は自宅に帰るとさっそく水を張った水槽にゲンゴロウ

中岡 亘（福岡・(福)頓野児童福祉会）

を泳がせました。図鑑を開きエサは何かを調べ、魚を食べるからイリコで代用できると、さっそく私に買ってくるように言いました。採取後数日間、三男坊は水槽に張り付いて、「後ろ足で泳いでいる」「じっとする時は石に張り付いている」など細かく観察していました。そんな三男坊の最近の将来の夢は「虫博士」です。次男からは「金が稼げる仕事じゃないかもね」なんて言われていますが気にしていません。

豊かな自然は人の心と身体を豊かにするものだ改めて感じます。自然と人が共存し人がつながって分かちあう里山の暮らしは、まさに今を生きる子どもたちに伝えたいことの一つではないかと思います。里山の荒廃は時代の流れでもあるのかもしれませんが、その大きな要因である少子高齢化へ突き進む社会を変えなくてはならないと、ゲンゴロウと三男坊が教えてくれているようです。

※1 ゲンゴロウは「福岡県希少野生動植物の保護に関する条例」では採取禁止昆虫ではありませんが、各自治体によって異なります。



# セミナー特集

## ①主任セミナー

### ●愛知県豊橋市にて、対面の みで2日間開催

2023年11月16～17日に愛知県豊橋市にて主任セミナーが開催され212名が参集しました。今年では3年ぶりの対面のみで実施しました。

#### ◆1日目～全体会

保育研究所の逆井直紀さんからの情勢報告とシンポジウムを行いました。

シンポジウムではお2人の主任さんから実践報告があり、それを受けて助言者の清水玲子先生・参加者からの質問・交流が行われました。清水先生は「たとえば若い職員へのはたらきかけの中で『え?』と思うことはとても大事なことです。それは中身を再吟味して「これでいいのかな」「ちがうのもありなのかな」と探るチャンス。園のことを大事に思うことと同時に園のなかで主任さんが自然体でいられることも大事。主任さんの悩みはみんなで考えないとなかなか突破できない。主任ってなんだろう、なんでいまの保育園がキツキツになっているんだろうということをみんなで考えて、なんとか頑張っていけたらいいなと思う」と述べられました。



#### ◆2日目～分散交流会・全体会

午前中は4つのテーマに分かれて分散交流会

を行いました。午後は「性的少数者から見たジェンダーと人権」と題した光本豊治さんの講演でした。

光本さんからは「理解しなければ、受けとめなければ、守ってあげなければという先生はたくさんいる。でもそれではいつまでたっても人間関係が上下関係のまま。ともに守って守られ合い、ともに支えて支え合いながら生きていく人間関係が築けないと、いつまでたっても数が少ないものは「情けない」「弱者だ」と言われる。「こういう対応をすればいい」という答えはない。まずはいったんその人を受け止める。そこからきちんと判断と分別をするというスタンスをもっていただければうれしい」などと話がありました。

### ●主任セミナーを開催してみ て／2023主任セミナー実行 委員会

2日間にわたる主任セミナー、お疲れさまでした。

1日目のシンポジウムでは、「主任・副園長の役割って?」というテーマで、2人の主任に実践報告をしていただきました。それぞれの主任たちの「主任の仕事って何だろう」と葛藤する思いの中で、自分が大切にしたい時間を守りながら頑張る主任の姿に共感した方も多かったと思います。2日目の分散交流会では、提案者の話を聞いて、今の自分に向き合い、主任という仕事を自分なりに見つめ直す時間になったと思います。そして午後からの光本先生の講演では、講演の内容すべてが学びの連続で、子どもを育てるという職業に就いた私たちにとって、大切なことを考えることができました。

そして、主任セミナーといえば、夕食交流会ですが、この実行委員会での話し合いの中で、一番長く時間を取って話し合ったのは、この夕食交流

会でした。実行委員会の中でも夕食交流会に参加したことがあるメンバーは少なく、みんなで一から考えてきました。また、コロナ禍の中で、対面で話すことができず、顔と名前も一致しなかった主任たちでしたが、実行委員会を通して、あれこれとアイデアを出しあっていくうちに一つにまとまっていく姿がありました。保育園の仕事だけでも大変な秋でしたが、実行委員会の皆さんとこうやって主任セミナーを作り上げ、やり遂げることができて本当によかったと思っています。

また、愛知といえば「こどもたちにもう一人保育士を」の運動が、愛知から全国へと広がっています。全国の保育士が「保育ってたのしい」と思えるような職場にしていくために、この運動を広めていきたいと思います。

今年の主任セミナーのテーマは「一人じゃないさ。出会い・語らい・つながり・互いの温度を感じよう・一緒に保育を楽しもう」です。愛知の主任セミナーのメンバーから、全国で頑張っている主任さんたちに愛を込めて、このテーマを考えました。この主任セミナーで感じたこと学んだことが、明日からの保育園での皆さんのエールになると嬉しく思います。

実行委員をすることで、主任セミナーが全国経営懇の事務局の方をはじめ、たくさんの方々の支えで作られていることを強く感じました。全国経営懇の中で主任が思いを出し合える場、語りあい元気になれる場を大切にしてくださっていることをとてもありがたく思います。たくさんの方の力があり、当日は実行委員も含め、参加者みんなで大いに楽しく語りあえた主任セミナーとなりました。2日間ありがとうございました。

(文責：市橋実行委員長・青山副実行委員長)



## ②夏季セミナー

### 2023年夏季セミナーをふりかえって

9月に行われた夏季セミナーでは『すべての子どもたちの権利保障と豊かな発達を願って—現代社会の中で、保育の役割と課題を深める—』をテーマに、行われました。講師の石井光太氏、増山均氏、逆井直紀氏の講演、そして地域活動報告は、本テーマを深く掘下げ、保育園の役割と課題を明らかにし多くの学びがありました。

参加者から多くの感想が寄せられ、「子どもの権利と豊かな発達保障の基本的な考え方と本質を新たな視点をもって捉えることができた」「乳幼児期の子どもたちが豊かに育つ上で大切なこと再確認し、子どもが主体の保育とは何か」「いま私たちが大切にしている保育への確信が持てた」など、沢山の学びがあったことが伝わってくる感想でした。石井氏と増山氏の感想の一部を紹介したいと思います。

#### 【石井氏のまとめ・感想】

現代の子ども・若者の育ちで一番気になり欠けていることとして、「国語力」の低下があることを指摘。そのことが生きづらさとなり、様々な問題（いじめ、不登校、引きこもり、自傷行為、自殺、少年事件など）のベースとなっていること。

国語力とは、①感じる力、②想像する力、③考える力、④表現する力の中核からなる能力で、あらゆることの基礎となるのが語彙力であり、それが基本となり情緒力や想像力を育てていくことになる。情緒力とは、他者や自然からやさしさ、悲しみ、美しさ、もののあわれを感じ取り、理解する能力。想像力は、未知なものをイメージしたり、他者の表情や動きから言葉以外の感情を読み取ったりする能力。

現代社会や学校は、ルールが多く、良い子ども像が求められ、干渉や叱られることが多い、物事を考える習慣がない。そういう中で、いま問いかけ型の会話が大事であること。自由な遊びや異質なもの、本物との出会いが必要で驚くこと、感動すること、楽しいことの体験が必要であること。心が動かされると、人に伝えたい思いになり、そこに言葉が生まれること。自尊感情には、①基本的自尊感情、②社会的自尊感情があり、乳幼児期は本物に出会い、楽しさや面白さなど人と共有し（アタッチメント）、自分が大切にされている存在であると感じる基本的自尊感情を育てることが特に大事で、それがベースとなり社会的自尊感情が育っていくことになること。

小さい時期に人と関わって楽しかった経験、自分が大切にされた経験がどれだけあるか、その情景が子どもの原風景として残してあげることの重要性を感じ、乳幼児期の保育への確信を持つことができました。

#### 【増山氏のまとめ・感想】

増山氏は「子どもはそもそも育つ力を持っている。それを妨害するものを取り除くのが大人の仕事」「子育ては希望をもたらすもので、そして希望を伝えるもの」。そのためには、子どもへのまなざし（子ども観）が大切で、子ども像にとらわれてはいけない。子ども観は、子どもの外面とともに内面の意識・思考・願いとその背景をとらえること。そして、一人の子どもの姿だけでなく子ども同士の関係をとらえる「子どもたち観」のまなざしがとても重要であること。その子ども観を豊かにするためには、戦後出発点になった「児童憲章」の子ども観を忘れてはならないし、「子どもの権利条約」の子ども観を学ぶことが不可欠であること。ユニセフや国連では、子どもの権利条約を大きく4項目の権利に分けているが、子ども

期保障のためには、6項目の基本的権利とその課題の把握が必要であること。

その6項目は、①生きる権利・命と健康が守られる権利、すなわち生存権の課題。②安心した生活が守られる権利、すなわち生活権保障の課題。③学ぶ権利、わかるように教えてもらう権利、すなわち学習権の保障の課題。④休息と余暇が保障され、楽しく遊び、想像力を羽ばたかせていく権利、すなわち文化権保障の課題、⑤失敗できる権利やり直し立ち直っていく権利、すなわち更生権保障の課題。⑥子どもたちが真に生活と発達の主人公になるための不可欠の権利、すなわち自治権・社会参加権の課題。

この6項目が、当たり前の雰囲気として、子ども施設や地域社会にあふれるようにしていかなければならないし、子どもの権利に基づく豊かな「子ども観」をもって子どもたちに接していく社会を実現することに力を尽くさなければと思いました。

文責：夏季セミナー担当役員・川端 隆

## ③経営研究セミナー なるべく対面で集まろう！

2024年1月の民間保育園経営研究セミナーは、琵琶湖グランドホテルにて開催します。

これまで使ってきたホテルの経営が外国資本にかわり、これまでのような使い方ができなくなりました。そのため急遽会場を探し、琵琶湖グランドホテルが確保できたことから、開催が可能となりました。

初めての会場のため、何かとご不便な点があるかもしれませんが、会員みなさんと一緒に楽しく学び交流する場にしていきたいと思っております。なにとぞ、ご協力をよろしくお願いいたします。

## ◆琵琶湖グランドホテルについて

○京都駅から電車で 20 分

京都駅から湖西線に乗り換えてください。おごと温泉駅まで約 20 分、1 時間に 3 本程度あります。

○お部屋は 2 人～3 人部屋。シングルはなし。

すべて和室です。シングルを希望される方は、京都市内などに確保し、通って参加することも可能です。

○大浴場は、男女とも 2 か所ずつあります

琵琶湖のすぐ横で眺めも良く、温泉大浴場が 4 か所（男女 2 か所ずつ）あります。



○無料駐車場、たくさんあります

駐車場は余裕があります。

## ◆対面&Zoomで開催

対面と Zoom ですが、分科会は対面のみです。

Zoom で参加できる企画内容	
1 日目	全体会（基調報告・シンポジウム）
2 日目	・会計講座（1 日通し） ・講座（午前 1 講座、午後 1 講座）
3 日目	全体会（活動交流・記念講演）

## ◆申込方法と締切

- ①「参加申込書」に記入し FAX で送信します。
- ②必要な費用をご入金ください。
- ③資料はレターパックで郵送（12/28 投函予定）。

申込締切：12 月 18 日（最終：12/22）

# こども家庭庁懇談

## ●10月30日懇談を終えて

10 月 30 日にこども家庭庁との懇談を行いました。こども家庭庁が創設され、初めての懇談です。懇談参加者の感想を紹介します。

### ◆こども家庭庁との懇談を終えて

静岡・みんなの森福祉会 加藤 朋子

今回、こども家庭庁との懇談で重点項目に挙げた①配置基準、②保育士等処遇改善、③こども誰でも通園制度の 3 つのうち、私が担当したのは、①配置基準の中でも「事務員を必置としてください」についてでした。「なぜ、こんなに専門的知識を要する事務業務が多数あるのに、公定価格には「事務職員雇上加算」が年額 60 万円程度しかないのだろうかの疑問についてです。

この問題を感情ではなく数値で訴えるため、調査研究部として全国の加盟園に「保育施設・法人本部の事務負担に対するアンケート」をお願いすることにしました。皆様のご協力のおかげで 160 ヶ所からの回答を得、その分析・集計結果をもとにグラフや分析コメントを作成し事前提出して懇談に臨みました。

その結果、担当者の方から出た回答は、「事務業務が増大していることは承知している。特に処遇改善についての事務作業が負担という声は他からももらっている。これを踏まえて事務負担の軽減に努める。」というものでした。

この回答に対し、「処遇改善の書類だけが負担な訳じゃない、事業所としてのあたりまえの事務業務が園長だけで担当することが負担なのです！」と他役員に補足していただき、「年間でどんな事務業務があるか具体的に表にまとめ、その結果こんなに園長の負担があり、法人本部業務までも担当する園長が多数いるという資料、ぜんぜ

ん見てない！」ともやもやしていた私の気持ちを代弁していただきました。

役員になって2年目、まさか霞が関に私が出かけて訴える機会が訪れるとは思ってもいない体験でした。少子化とともに0歳定員割れ問題を解決するかのごとく出てきた「こども誰でも通園制度」は、現場の負担とともに子どもの命が危険にさらされることがあるのでは・・・と心配ごとがいっぱいです。そしてその給付金の請求事務もまた新たな負担になっていきます。「やっぱり、全国どの保育施設にも正規事務職員を公定価格の保障のもと、必置としてもらいたい！」という思いは強くなるばかりです。



#### ◆こども家庭庁懇談に参加して

大阪・さくら保育園 津田亜矢子

経営懇の役員のみなさんと学習をして、念入りにうちあわせをして望んだ、こども家庭庁との懇談。私が発言したのは、『保育所などの職員配置基準を改善してください。』の項目です。保育現場の現状を訴えました。バスの置き去り事故があったてからは、お散歩のみならず、保育室の移動や朝夕の混合保育の時も1日に何度も人数の確認をすること、子どもたちと思いきり遊びたい、けれど、事故が起きないかと安全確認ばかりしてまう。私達の仕事は子どもたちの命を守ることは大前提だが、遊びの中で色々な経験の中で発達を保障することが保育士の仕事なので、そのために必要な人員配置の基準にしてほしい！また、まだコロ

ナやインフルエンザが流行っており、現場をギリギリで回していることやプールの監視員を園長や主任が汗だくになりながらしていること、仕事がハードで定着せず離職率がたかい、人を雇いたくても募集してもこないことなどを訴えてきました。このような場で発言するのは初めてなのでとても緊張しましたが、こども家庭庁の方たちに、現場の実態を知ってもらえる場になったのではないかと思います。

#### ◆初めてこども家庭庁との懇談に参加して

埼玉・めだか保育園 高田満

懇談の中で、私は配置基準について質問しました。配置基準改善が検討されていますが、どこか数字だけが一人歩きしているように思ったからです。「25人」なら25人の子ども一人一人の動き、感情があります。保育士の「1人」にもそれぞれの思いがあって日々保育をしています。それを感じないで(分からないで)数字上で減った増えた、を決められたら本当に困りますし、いつまでたっても保育環境は改善されないとします。実際に懇談してくれた職員の方も実態まで把握していませんでした。今回のような懇談を続け現場の実態を伝え、制度設計に少しでも活かして欲しいと願うばかりです。またどうしたら保育現場の実態を伝えられるかはこれからの課題で、工夫しながら伝えて行きたいです。



# 11.22 国会要請&

# 11.23 保育大集会

## ●議員要請行動、対面で230人参加

要請行動には24都道府県から230人が参加しました。

今回の行動では、約40名の議員と直接会って話すことができました。これは、保育が重要な課題となっていることの現れです。



東京選出の田村議員に署名を渡す  
東京経営懇のみなさん

1月以降の通常国会にも署名を提出するので、「引き続き署名を広げよう！」と、よりよい保育を実行委員会から呼びかけがありました。

## ●保育大集会、2000人参加 発言も、参加者の姿からも、 元気をもらった！

日比谷野外音楽堂で開催された保育大集会には、2000人が参加しました。

集会では基調報告に続き、保育士や保護者が発言しました。民間保育園の経営の立場から、埼玉・第2くるみ保育園園長の佐藤滋美さんが発言し、深刻な保育士不足の実態や、子ども・保護者の日々の暮らしを支えるためにも制度の拡充が必要であることを訴えまし



た。東京経営懇を中心に、園長さんたちが一緒に舞台に立ちました。



職員が働き続けられる保育園に！  
園長も楽しく元気に働きたい！



保育大集会にもたくさん参加しました

コロナ前の参加者数に近づき、パレードも9梯団になりました。先頭は、よりよい保育を実行委員会の代表者たち。経営懇会員園の理事長らの顔も見えます。元気が出る集会でした。

# お知らせ

## ●経営研究セミナー 対面&Zoomで開催、学び 語りあいましょう！

1月の経営セミナーは、対面で参加できる枠を大きく広げます。ぜひ、会場にお越しください。インフルエンザ等が流行する時期でもありますので、Zoomも併用できる企画にしました。

### <セミナー概要>

日時：2024年1月8～10日（月～水）

会場：琵琶湖グランドホテル（滋賀県大津市）

定員：会場 350名+Zoom

参加費：15,000円

宿泊費（1泊2食）：18,800円 ※夕食含む

2人または3人で1室。シングルなし。

宿泊なし夕食のみ：9,000円（1食・飲み物別）

### <主な内容>

・1日目シンポジウムは、保育や子育てをめぐる情勢を踏まえ民間保育園の役割を考えます。

現場からの報告をもとに、自分の地域・法人・園ではどうする？と考える契機にします。

・Zoomで参加できる企画は次の通りです。

★Zoomで参加できる企画内容	
1日目	全体会(基調報告・シンポジウム)
2日目	・会計講座(1日通し) ・講座(午前1講座、午後1講座)
3日目	全体会(活動交流・記念講演)

・講座では、「こども誰でも通園制度」の講座も企画。会計講座はZoomでも参加でき、1日かけてじっくり学べます。日頃のギモンも持ち寄って下さい。

・分科会は対面のみです。

・3日目記念講演は鈴木宣弘さん（東京大学）。「世界で最初に飢えるのは日本！？」食の切り口から、日本社会を考えます。

### 【経営懇・活動日誌】11月

○11月1日（水）主任セミナーうちあわせ

○11月6日（月）全保連臨時常任幹事会（こども誰でも通園制度の検討状況を共有）

○11月13日（月）経営研究セミナーのシンポジウムうちあわせ（Zoom）。報告者4名とコーディネーターの阿部さん参加。

○11月14日（火）主任セミナーに向けて、旅行社とのうちあわせ。

○11月16～17日（木～金）愛知県豊橋市にて主任セミナー開催。212名参加。

○11月18日（土）56合研常任実行委員会

○11月20日（月）経営懇事務局会議。

○11月22日（水）国会要請行動、全国から230名が参加。

○11月23日（木・祝）保育大集会、2000名参加。民間保育園園長の立場から集会で発言（埼玉・佐藤滋美さん）。各地の園長も一緒に舞台へ！

○11月27日（月）三役会

### 同封資料

#### ①経営研究セミナー案内書&申込書

申込書をFAXし、参加費等をご入金ください。申込締切は12月18日(最終12/22)

#### ②保育研究所研究集会ご案内

2024年2月8～10日と、Zoomにて連続講座を開催します。オンライン企画です。

#### ③子どもと平和を考えるつどい

12月23日に、Zoom&対面で講演会を開催します。参加費無料。

#### ④緊急声明「子どもたちの命をうばわないで！イスラエルとパレスチナ・ガザ地区での武力行為の即時停止を求める」

11月15日付で全保連が発表した緊急声明です。各地でも職員・保護者等にひろげてください。まずはこの事実を知らせていきましょう。